



# 岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

細胞質内遺伝子群およびS-遺伝子型の多様性から見たバラ科植物の分子系統

メタデータ	言語: ja 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松本, 省吾 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12099/367">http://hdl.handle.net/20.500.12099/367</a>

## は し が き

バラ科植物に属するバラ、リンゴはともに古くから栽培されてきており、自然及び人為交配種が非常に多く存在することから、その系譜は複雑である。これまでの形態的、生理的、発生学的、生態学的特徴、すなわち遺伝子の表現型である phenotype に基づく分類により、例えば、バラ属は4亜属に分類されており、その中の1つバラ亜属は10節に分けられている。しかしながら、これら亜属間、節間の類縁関係はほとんど不明である。また、バラ野生種と同様リンゴ野生種においても、野生種間の系統関係に関してはほとんど不明である。近年、様々な植物種でDNAの塩基配列情報、ならびにRFLP解析データをもとに系統関係を明らかにする試み、すなわち遺伝子の表現型ではなく遺伝子型である genotype に基づく分子系統解析が行われている。バラ科植物でも、栽培品種に関してはこの試みが行われているが、栽培品種作出のもとになった野生種に関してはほとんど行われていない。

本研究では、バラの系統類縁関係を明らかにする目的で、葉緑体ゲノム上の *matK* 領域ならびに核ゲノム上の ITS 領域の塩基配列を決定し、分子系統樹を作製した。また、リンゴ自家不和合性に関連する S 遺伝子群を単離し、S 遺伝子型に基づくリンゴの類縁関係を調べた。